

大町市長初登庁

十月に行われた市長選挙で初当選された大町行治市長が、十一月十六日職員らの出迎えを受け初登庁。

を受け取った市長は、大會議室に職員を集め「信頼される明るく公正な市政を進めよう」と訓示しました。



お仕事ごころごさま!

十一月二十三日にひまわり幼稚園の園児十五人が南国郵便局の職員たちを訪れ、「いつも手紙を配ってくれてありがとう」と自分たちが世話をした鉢植えのパンジーを贈りました。



優しい心で花づくり

高知法務局と県人権擁護委員協議会から十月三十日に長岡小、三十一日には日章小へ「人権の花」がプレゼントされました。

「人権の花」は花を育てる優しい心で友だちに接してもらおうと昨年からはじめられたもの。今年もチューリップが子供たちの手で育てられ、花が咲くと白銀荘などの福祉施設へ贈られます。



カメラレポート



秋晴れを歩く

婦人スポーツ教室では十一月三日に一日ハイキングが行われ、参加者七十五人が徳島県の次郎坂へ。

起伏も激しく、まさに本格的な登山という感じでしたが、さわやかな青空の下、参加者たちは日ごろの運動不足をふき飛ばし、楽しい一日を過ごしていました。

秋晴れの色づく木々のハイキング (参加者作)



芸術の秋を楽しむ

文化、芸術を楽しむ市民等で行く南国市文化推進協議会(島村辰彦会長)が主催する、第十八回南国市文化祭が十月二十日から八日間市民体育館等で行われました。

日本画、洋画、書道の作品などを展示、また茶道の会員によるお茶の会もなされました。最終日の二十七日には、芸能部門の発表が行われ、百五十人ほどの参加者が歌や舞い、また器楽演奏にと日ごろの練習の成果を発揮しました。



親子連れでにぎわう

十一月二十四日、甘枝の巨峰園で市保育祭りが行われ、大勢の親子連れでにぎわいました。

親子と保育園相互の触れ合いを深めようと、市保育所園保護者連合会が主催して行われたもので、父母や保育さんらによる模擬店や折り紙、ぬり絵コーナーなどが設けられ、思い思いに楽しいひとときを過ごしました。



小笠原前市長

日章小に図書を寄贈

昭和五十年以来、四期十六年にわたって南国市長を務められた、小笠原喜郎氏が十一月十五日をもって退任されました。これを記念して喜郎氏と実弟の義光氏(東京水産大学名誉教授)の二兄弟より母校の日章小小学校に図書が寄贈されました。

寄贈された図書は、大漢和辞典と生物図鑑、原色貝類図鑑など三百九十二冊にのぼり、子供たちの教育に役立てられます。

